



令和4年(確定)及び令和5年(9月末)の労働災害発生状況について

年別 災害別 業種別 号別	秋田労働局(県内)				秋田労働局(県内)					秋田署管内						
	年合計(確定)				令和4年		令和5年		前年増減		令和4年		令和5年		前年増減	
	令和3年		令和4年		1月~9月		1月~9月		件数 百分率		1月~9月		1月~9月		件数 百分率	
死亡	休業4日以上	死亡	休業4日以上	死亡	休業4日以上	死亡	休業4日以上	件数	百分率	死亡	休業4日以上	死亡	休業4日以上	件数	百分率	
全業種合計	7	1,220	14	3,117	9	1,629	11	1,116	-513	-31.5%	3	578	4	392	-186	-32.2%
うち新型コロナウイルスを除く	7	1,120	14	1,155	9	774	11	762	-12	-1.6%	3	281	4	298	17	6.0%
うち新型コロナウイルスによる		100		1,962		855		354	-501	-58.6%		297		94	-203	-68.4%
1 製造業	2	218	2	321	1	200		154	-46	-23.0%		54		53	-1	-1.9%
2 鉱業 (鉱業法適用を除く)		3						4	4	-						
3 建設業	4	227	8	304	4	220	4	143	-77	-35.0%	2	59	1	41	-18	-30.5%
土木工事業		73	3	119	1	90	2	42	-48	-53.3%	1	19		15	-4	-21.1%
建築工事業	3	123	3	117	2	72	2	79	7	9.7%		15	1	19	4	26.7%
鉄骨・鉄筋家屋建築		18		12		8	1	16	8	100.0%				4	4	-
木造家屋建築	3	77	3	78	2	53		43	-10	-18.9%		10		9	-1	-10.0%
その他の建設業	1	31	2	68	1	58		22	-36	-62.1%	1	25		7	-18	-72.0%
4 運輸交通業		113		132		97	2	77	-20	-20.6%		41	1	36	-5	-12.2%
5 貨物取扱業		1		2		1			-1	-100.0%		1			-1	-100.0%
6-2 林業	1	37	2	32	2	20	1	16	-4	-20.0%		1		1	0	-
8 商業		192	1	256	1	171	1	124	-47	-27.5%	1	76	1	56	-20	-26.3%
13 保健衛生業		214		1,801		723	1	452	-271	-37.5%		225	1	135	-90	-40.0%
14 接客娯楽業		52		63		52	1	36	-16	-30.8%		26		19	-7	-26.9%
15 清掃・と畜業		32	1	35	1	25		41	16	64.0%		15		25	10	66.7%
上記以外の事業		131		171		120	1	69	-51	-42.5%		80		26	-54	-67.5%

11月は「過労死等防止啓発月間」です。

1 毎年11月は過労死等防止啓発月間です。長時間労働の削減等の過重労働解消に向けた取組の推進を図る観点から、同月間に「過重労働解消キャンペーン」を実施して主に次の取組を行います。

特別労働相談(11月3日(金・祝))を実施します。

過重労働解消相談ダイヤル(フリーダイヤル) 0120-794-713 (午前9時から午後5時まで)

長時間労働の削減等の過重労働解消に向けた取組に関する**周知・啓発**を行います。

重点的に監督指導等を実施します。

2 過重労働による健康障害を防止するために、労働時間を適正に把握し、次の措置を講じましょう。

時間外・休日労働を削減しましょう。

年次有給休暇の取得を促進しましょう。

労働者の健康管理に係る措置を徹底しましょう。

3 今年も「**過労死等防止対策推進シンポジウム**」が開催されます。

秋田会場は**あきた芸術劇場ミルハス**で、**11月20日(月)**です。

「『**パワハラを起こす企業と起こさない企業何が違うのか**』と題した基調講演」のほか、「取組事例報告」、「遺族からの声」などが予定されておりますので、ぜひ参加してください(シンポジウムについては、裏面を参照してください。)

過労死等防止対策推進シンポジウム

検索

毎年12月から転倒災害が増加します。

毎年12月から2月にかけて雪や凍結による転倒災害が多発しています。発生場所は駐車場や会社敷地内が多く、**午前7時から午前10時台**までが要注意時間帯となります。

骨折などにより1か月以上休業を要する場合も少なくありません。

対策としては**防滑性の高い靴**を選びましょう。

また大股で歩くと滑ったときにバランスを崩しやすくなります。

「**滑るかもしれない**」という意識を持ちながら、今年の冬はいつもよりの少し歩幅を小さく、平面着地のようによく歩けることを心掛けましょう。



